

令和6年度 八代市ケーブルテレビ放送番組審議会意見への回答

【指定管理事業者:テレビやつしろ(株)】

西部小学校 解体前に 50 年ぶりタイムカプセル開封 20 分

令和2年7月豪雨で被災した坂本町は、現在も多くの建物が解体され続けています。

解体前に映像を残したいと思っており、西部小学校が解体されることを聞き、単に建物を撮影するだけではなく、地元の想いも加えた番組にしたいと今回タイムカプセル開封の様子を取材しました。

校舎の中も撮影したかったのですが、すでに立ち入り禁止となっており、悔やまれる所もございましたが、現在、西部小学校は解体され更地になっており、地元や卒業生の気持ちを思うと、映像に残しておいて良かったと思います。

委員の方の感想に、制作者として大変、有難くとても励みになりました。

様々な映像にあふれている現代、多くの人に見てもらえる番組を作るとはとても難しいことですが、地域密着の強みを生かし、今後も楽しみにしてもらえる番組を作っていきたいと思います。

東陽中学校日本遺産石橋ガイド 10 分

東陽中学校の生徒達が石橋ボランティアガイドについて自ら考え、行動することで成長していく様子や番組の内容を丁寧に見ていただき、それぞれの良い点を捉えていただけたことに感謝いたします。

特に、1年生と3年生の対比、生徒たちの成長、自主性、故郷への誇りといった点に共感いただけたことは、大変励みになります。

生徒たちの努力や成長の過程をよりリアルに伝えるために本番に至るまでの練習風景を取り入れることを今回は省略してしまい、生徒たちの努力の過程は重要な要素だと思いますので、今後の制作において、気がけたいと思います。

また、雑音などに気を付け、観る人に感動や学びを与えられるような番組を心掛けます。

委員の皆様のご意見を参考に、より良い番組制作を目指してまいります。

南川内雨乞い太鼓の記録 20 分

当初、2020 年の夏祭りでの披露に向けて練習に取り組まれる様子を 2019 年から密着取材していましたが、コロナが発生し、練習も数回で中止となってしまう、番組にすることもなく眠らせていた素材を活かしたく、今回、南川内地区の野田様にご出演を依頼しました。

番組をご視聴いただいた南川内地区の方から、雨乞い太鼓の戦時中の話などは地区住民でも知らなかったのも、番組を通して知ることができて良かったとのご連絡をいただきました。

そのご感想は、私にとって地域に密着した番組制作の価値を深く考えさせられるお言葉となりました。

泉地域の視聴者の皆様がどんな番組を必要とされているのかしっかりと考えながら、地域に役立つ番組制作を行っていきます。

自主制作番組に対する全体的なご意見に関しまして

それぞれの番組に関しまして、地元密着のケーブルテレビならではの取り組みが出来ればと認識し、長期映像保存可能な方法(システム機器)も社内で検討しており、情報の活用が出来るように目指しています。

ご意見のなかでございました、視聴率の収集に関しましては、収集を行うシステムの購入及び人員の関係もございますので、今後の課題の一つと考えております。

また、市外への八代の情報発信として、市外や県外のケーブルテレビ会社(現在 12 社)が協力し、各地元を紹介した番組「九州イチオシ！」の制作・放送を持ち回りで行う取り組みに参加しています。この番組では、放送回ごとに「熊本編」など参加各社の地域の魅力を題材にした内容を制作し、放送しています。

委員の方々には、多くのご意見を出して下さったことに心から感謝致します。

幅広く視聴者の方々に喜んでもらえる番組づくりに取り組んでまいります。